

農学知的支援ネットワーク第2回総会開催される

農学知的支援ネットワーク（JISNAS: Japan Intellectual Support Network in Agricultural Sciences）の第2回総会が、2010年10月22日、名古屋大学野依記念学術交流館で開催されました。メンバー大学やアドバイザー機関の文部科学省、農林水産省、国際協力機構（JICA）および国際農林水産業研究センター（JIRCAS）、それにオブザーバー参加の大学関係者を含む総勢33名が出席し、昨年11月の設立総会以降の活動報告や今後の活動方針などについて活発な討議が行われました。

事務局から、活動を「1. 組織」、「2. 研究成果の公表・広報」、「3. 国際協力事業の形成・実施」の3つの項目に整理の上、1. ネットワークの拡大・強化を目的とした会員獲得活動の促進およびODA関係者との連携強化、2. JISNASホームページやJISNAS便りを活用した国際協力に関する情報共有・発信の強化および「農学国際協力」誌^[注]の発刊に向けた協力、3. ネットワークの機能を活用した国際協力事業の形成促進等が今後の活動方針として提案され、活発な議論の上承認されました。

国際協力事業の形成・実施に関し、事務局からJICA技術協力プロジェクト「アフガニスタン国人づくりプロジェクト（仮称）」についての概要説明が行われ、大学がアフガニスタンからの留学生を受け入れるに当たっての課題などについて意見交換が行われました。出席者から出された意見は、他のメンバー大学の意見と合わせて後日事務局により取りまとめられ、「意見具申書」として文部科学省及びJICAに提出されています。

また、総会開催に先立ち運営委員会が開催され、上述の3つの活動項目毎に担当の運営委員を配置し、JISNASの機能強化および運営委員会と事務局との役割の明確化と責任の分担を図るとの方針が確認されました。

2010年10月1日、JICAから伊藤圭介氏が事務局次長として着任し、事務局体制が強化されました。このように、2009年11月の発足から約1年、JISNASの実施体制は更に強化され、ネットワークを活用した国際協力活動の推進も軌道に乗りつつあります。ICCAEはJISNAS事務局として、その持続的な発展に向けた取り組みを引き続き支援していきます。（浅沼修一）

注：「農学国際協力」誌は、農学国際協力という学問分野の体系化、あるいは理論的根拠の深化を図ることを目的とした学術誌です。



JISNAS第2回総会

使いやすくなったOSGeo4W7-GRASS —平成22年度JICA-GIS集団研修—

JICAの委託を受け、「土地利用と自然資源分析の情報管理技術」研修を8月～9月、約5週間にわたって実施しました。これまでの第1フェーズ（2000～2004年度）、第2フェーズ（2005～2009年度）に引き続き、いわば第3フェーズ（2010～2012年度）の初年目で、ICCAEとして11年目になります。第3フェーズでは、前2フェーズで対象とした農業生産現場や農業環境から土地利用と自然資源（森林や湿地帯など）に視野を広げ、大阪市立大学が開発したWindows 7版のGISフリーソフト「OSGeo4W7」（GRASSなど）の技術移転を図ることを目的としました。研修員がそれぞれ自国の課題を持ち寄り、講師の指導を受けながら取り組むケーススタディの時間を設け、各人の習得レベルに応じた指導がなされました。アルゼンチン、ツバル、カンボジア、インド、ミャンマーの5ヶ国から6名の研修員が来日し、帰国後、習得した技術を広めることが期待されています。（浅沼修一）

JICA課題別研修（長期）「生命農学国際コース」2年目に入る

名古屋大学大学院生命農学研究科が2009年度から開始したJICA課題別研修（長期）は、2010年度4名の研修生を受け入れました（表参照）。本研修は、農業／農村開発のための政策立案・実施・マネジメントに関わる開発途上国の大学・研究機関・省庁の職員の人材育成を目的としています。研修員はそれぞれの指導教員のもとで勉学に励んでおり、その成果が期待されます。（浅沼修一）

氏名	自国での所属	研究分野	研究題目	学年	指導教員
MAGDARAOG Peter Magan	Bureau of Plant Industry, Department of Agriculture, the Philippines	害虫制御学	Interspecific competition of parasitoids	前期1年	田中利治
WAINAINA Cornelius Mbathi	Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technology, Kenya	協力ネットワーク 開発	QTL analysis of some agronomical traits in NERICAs for adaptation to Kenyan rice production	前期1年	楨原大悟
SHELLEY Israt Jahan	Bangladesh Agricultural University, Bangladesh	植物遺伝育種学	Analysis of genes involved in the maintenance of root apical meristem in rice	後期1年	犬飼義明
MOSTARI Mst. Parvin	Bangladesh Livestock Research Institute, Bangladesh	生殖科学	Neuroendocrine mechanism controlling reproductive function	後期1年	東村博子